

1

問題のページへ

(1) $C: y = 2\sin x$ より, $y' = 2\cos x$ ここで, $y' = 1$ とすると, $\cos x = \frac{1}{2}$ $-\pi < x < \pi$ から $x = \pm\frac{\pi}{3}$ となり, 接点の座標は,

$$\left(\frac{\pi}{3}, \sqrt{3}\right), \left(-\frac{\pi}{3}, -\sqrt{3}\right)$$

 $x = \frac{\pi}{3}$ のとき, 接線の方程式は,

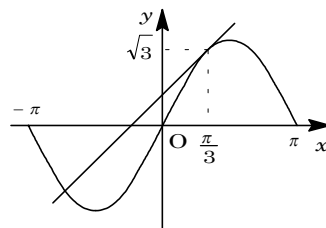
$$y - \sqrt{3} = x - \frac{\pi}{3}, \quad y = x + \sqrt{3} - \frac{\pi}{3}$$

 $x = -\frac{\pi}{3}$ のとき, 接線の方程式は, $y + \sqrt{3} = x + \frac{\pi}{3}$, $y = x - \sqrt{3} + \frac{\pi}{3}$ すると, $a > 0$ から, $a = \sqrt{3} - \frac{\pi}{3}$ である。(2) 接線と x 軸の交点は, $y = 0$ として, $x = -\sqrt{3} + \frac{\pi}{3}$ となる。よって, 求める回転体の体積を V とすると,

$$\begin{aligned} V &= \frac{1}{3}\pi(\sqrt{3})^2\left(\frac{\pi}{3} + \sqrt{3} - \frac{\pi}{3}\right) - \pi \int_0^{\frac{\pi}{3}} (2\sin x)^2 dx \\ &= \sqrt{3}\pi - 2\pi \int_0^{\frac{\pi}{3}} (1 - \cos 2x) dx = \sqrt{3}\pi - 2\pi \left[x - \frac{1}{2}\sin 2x \right]_0^{\frac{\pi}{3}} \\ &= \frac{3}{2}\sqrt{3}\pi - \frac{2}{3}\pi^2 \end{aligned}$$

[解説]

微積分の基本問題です。穏やかな始まりです。



2

問題のページへ

- (1) E を単位行列とすると、 $\vec{p} = A\vec{p} + \vec{b}$ より、 $(E - A)\vec{p} = \vec{b}$
 ここで、 $E - A = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ より、 $(E - A)^{-1} = 2 \cdot \frac{1}{1} \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} = 2 \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ となり、

$$\vec{p} = (E - A)^{-1} \vec{b} = 2 \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \end{pmatrix}$$
- (2) 条件より、 $\vec{p}_{n+1} = A\vec{p}_n + \vec{b}$
 から、 $\vec{p}_{n+1} - \vec{p} = A(\vec{p}_n - \vec{p})$ となり、 $\vec{q}_n = \vec{p}_n - \vec{p}$ とおくと、

$$\vec{q}_{n+1} = A\vec{q}_n$$
- (3) $A = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ に対して、ハミルトン・ケーリーの定理から、

$$A^2 - A + \frac{1}{4}E = O, \quad \left(A - \frac{1}{2}E\right)^2 = O$$

 ここで、 $A - \frac{1}{2}E = B$ とおくと、 $B^2 = O$ から、

$$\begin{aligned} A^n &= \left(\frac{1}{2}E + B\right)^n = \left(\frac{1}{2}\right)^n E + {}_n C_1 \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} B = \frac{1}{2^n} E + \frac{n}{2^{n-1}} B \\ &= \frac{1}{2^n} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} + \frac{n}{2^{n-1}} \cdot \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 0 & 0 \end{pmatrix} = \frac{1}{2^n} \begin{pmatrix} 1 & n \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \end{aligned}$$
- (4) (2)より、 $\vec{q}_n = A^{n-1} \vec{q}_1$ から、 $\vec{p}_n - \vec{p} = A^{n-1} (\vec{p}_1 - \vec{p})$ となり、

$$\begin{aligned} \vec{p}_n &= \vec{p} + A^{n-1} (\vec{p}_1 - \vec{p}) = \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \end{pmatrix} + \frac{1}{2^{n-1}} \begin{pmatrix} 1 & n-1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} -1 \\ -2 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} 2 \\ 2 \end{pmatrix} + \frac{1}{2^{n-1}} \begin{pmatrix} -2n+1 \\ -2 \end{pmatrix} = \frac{1}{2^{n-1}} \begin{pmatrix} 2^n - 2n + 1 \\ 2^n - 2 \end{pmatrix} \end{aligned}$$

[解 説]

数列と行列の融合で、頻出問題の 1 つです。(3)では、二項定理を利用しましたが、推測 帰納法でも OK です。

3

問題のページへ

(1) 2 次方程式 $z^2 + tz + t = 0$ が異なる 2 つの虚数解をもつ条件は、

$$D = t^2 - 4t = t(t - 4) < 0$$

よって、 $0 < t < 4$ となり、このとき より、 $z = \frac{-t \pm \sqrt{t^2 - 4t}}{2} = \frac{-t \pm \sqrt{-t^2 + 4t} i}{2}$

(2) 条件より、 $z(t) = \frac{-t + \sqrt{-t^2 + 4t} i}{2}$ なので、 $z(t) = x + yi$ とおくと、

$$x = -\frac{t}{2} \dots\dots\dots, \quad y = \frac{\sqrt{-t^2 + 4t}}{2} \dots\dots\dots$$

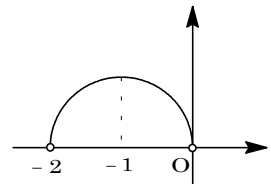
より、 $t = -2x$ となり、 に代入すると、

$$2y = \sqrt{-4x^2 - 8x}$$

$y > 0$ で両辺を 2 乗すると、 $4y^2 = -4x^2 - 8x$

$$x^2 + y^2 + 2x = 0, \quad (x + 1)^2 + y^2 = 1$$

よって、点 $z(t)$ の描く図形は、右図のようになる。



(3) $w = \frac{iz}{z+1}$ より、 $(z+1)w = iz$, $(w-i)z = -w$

ここで、 $w = i$ とすると は成立しないので、 $w \neq i$ から、 $z = \frac{-w}{w-i}$

また、(2)より、点 z は点 -1 を中心とする半径 1 の上半円を描くので、

$$|z+1| = 1 \dots\dots\dots, \quad |z-i| < |z+i| \dots\dots\dots$$

より、 $|\frac{-w}{w-i} + 1| = 1$, $|\frac{-i}{w-i}| = 1$ となり、 $|\frac{-i}{w-i}| = 1$ から、 $|w-i| = 1$

よって、点 w は点 i を中心とする半径 1 の円を描く。

より、 $|\frac{-w}{w-i} - i| < |\frac{-w}{w-i} + i|$, $|\frac{(-1-i)w-1}{w-i}| < |\frac{(-1+i)w+1}{w-i}|$ となり、

$$|(-1-i)w-1| < |(-1+i)w+1| \quad (w \neq i)$$

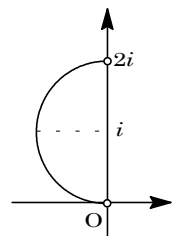
$|-1-i| |w + \frac{1}{1+i}| < |-1+i| |w + \frac{1}{-1+i}|$ から、 $\sqrt{2} |w - \frac{-1+i}{2}| < \sqrt{2} |w - \frac{1+i}{2}|$

$$|w - \frac{-1+i}{2}| < |w - \frac{1+i}{2}|$$

よって、点 w は 2 点 $\frac{-1+i}{2}$, $\frac{1+i}{2}$ を結ぶ直線すなわち虚軸の左

側にある。

以上まとめて、点 w の描く図形は、右図のようになる。



[解 説]

複素数と軌跡に関する頻出タイプの問題です。なお、軌跡の限界である z の虚部が正という条件は、 で数式化しています。

4

問題のページへ

- (1) 不等式 $\log_2 \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] = 1$ に対し, $\left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] > 0$ ($\frac{5}{2} + \cos \theta = 1$) のもとで,

$$\left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] = 2, 1 \quad \frac{5}{2} + \cos \theta < 3$$

すると, $-\frac{3}{2} < \cos \theta < \frac{1}{2}$ となり, $0 < \theta < \pi$ の範囲では,

$$\frac{\pi}{3} < \theta < \pi$$

- (2) 不等式 $\left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right] = 1$ に対し, $\sin \theta > 0$ のもとで,

$$\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta = 1, \quad \log_2 \sin \theta = -\frac{1}{2}$$

すると, $\sin \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$ となり, $0 < \theta < \pi$ の範囲では,

$$\frac{\pi}{4} < \theta < \frac{3}{4}\pi$$

- (3) 不等式 $\log_2 \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] = \left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right] \dots (*)$ に対して, $0 < \theta < \pi$ の範囲では,

$\left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] > 0$ および $\sin \theta > 0$ は成立している。

ここで, $-1 < \cos \theta < 1$ より, $\frac{3}{2} < \frac{5}{2} + \cos \theta < \frac{7}{2}$ となるので,

$$\left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] = 1, 2, 3$$

また, $0 < \sin \theta = 1$ より, $\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta = \frac{3}{2}$ となるので, $\left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right] = 1$

- (i) $\left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] = 1$ ($\frac{3}{2} < \frac{5}{2} + \cos \theta < 2$) のとき

まず, $-1 < \cos \theta < -\frac{1}{2}$ より, $\frac{2\pi}{3} < \theta < \pi \dots \dots$

(*)より, $0 = \left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right]$ となり,

$$\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta = 0, \quad \log_2 \sin \theta = -\frac{3}{2}, \quad \sin \theta = \frac{1}{2\sqrt{2}}$$

条件から, $\sin \alpha = \frac{1}{2\sqrt{2}}$ ($0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$) なので, $0 < \theta < \pi$ の範囲では,

$$\alpha < \theta < \pi - \alpha \dots \dots$$

ここで, $\sin \frac{2\pi}{3} > \sin(\pi - \alpha) = \sin \alpha$ から, $\frac{2\pi}{3} < \pi - \alpha$ となるので,

より, 求める θ の範囲は, $\frac{2\pi}{3} < \theta < \pi - \alpha$ である。

- (ii) $\left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] = 2$ ($2 < \frac{5}{2} + \cos \theta < 3$) のとき

まず, $-\frac{1}{2} < \cos \theta < \frac{1}{2}$ より, $\frac{\pi}{3} < \theta < \frac{2\pi}{3} \dots \dots$

(*)より, $1 = \left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right]$ となり, (2)より $\frac{\pi}{4} < \theta < \frac{3}{4}\pi \dots \dots$

より, 求める θ の範囲は, $\frac{\pi}{3} < \theta < \frac{2\pi}{3}$ である。

(iii) $\left[\frac{5}{2} + \cos\theta\right] = 3 \left(3 - \frac{5}{2} + \cos\theta < \frac{7}{2}\right)$ のとき

まず, $\frac{1}{2} - \cos\theta < 1$ より, $0 < \theta < \frac{\pi}{3}$

(*)より, $\log_2 3 - \left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin\theta\right]$ となるが, $\left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin\theta\right] = 1$ に反する。

(i) ~ (iii)より, 求める θ の範囲は, $\frac{\pi}{3} < \theta < \pi - \alpha$ である。

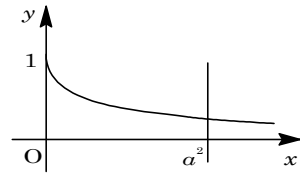
[解 説]

ガウス記号付きの不等式ですが, それに三角関数, 対数関数が混在し, 盛りだくさんです。(1)と(2), および(3)の一部が文系と共通です。

5

問題のページへ

- (1) t が $t = 0$ で変化するとき、 $x = t^2$ 、 $y = e^{-t}$ の描く曲線 C と x 軸、 y 軸、および直線 $x = a^2$ で囲まれる部分の面積 $S(a)$ は、



$$\begin{aligned} S(a) &= \int_0^{a^2} y dx = \int_0^a e^{-t} \cdot 2t dt \\ &= -2[te^{-t}]_0^a + 2 \int_0^a e^{-t} dt \\ &= -2ae^{-a} - 2[e^{-t}]_0^a = -2(a+1)e^{-a} + 2 \end{aligned}$$

- (2) $a > 0$ の範囲で、(1)より、 $S'(a) = 2ae^{-a} > 0$
これより、 $S(a)$ は単調に増加する。

a	0	...	1	...
$S''(a)$		+		-
$S(a)$	0	∪	$2 - \frac{4}{e}$	∩

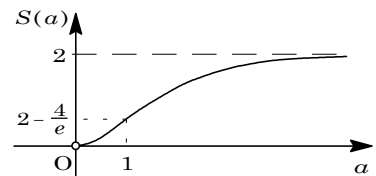
さらに、 $\lim_{a \rightarrow \infty} ae^{-a} = 0$ より、

$$\lim_{a \rightarrow \infty} S(a) = \lim_{a \rightarrow \infty} \{-2(a+1)e^{-a} + 2\} = 2$$

また、凹凸については、

$$S''(a) = 2e^{-a} - 2ae^{-a} = 2(1-a)e^{-a}$$

まとめると、右上の表となる。



以上より、 $S(a)$ のグラフの概形は右図のよう

になる。

- (3) $F(a) = S(a) - 1.35$ とおくと、 $\frac{5}{2} < e < 3$ から、

$$F(2) = S(2) - 1.35 = -\frac{6}{e^2} + 0.65 < -6 \cdot \frac{1}{9} + 0.65 = -\frac{2}{3} + 0.65 < 0$$

$$F(3) = S(3) - 1.35 = -\frac{8}{e^3} + 0.65 > -8 \cdot \frac{8}{125} + 0.65 = -\frac{64}{125} + 0.65 > 0$$

よって、 $F(a) = 0$ は $2 < a < 3$ の範囲に解をもつ。すなわち、 $S(a) = 1.35$ となる a は $2 < a < 3$ の範囲に存在する。

[解説]

第 1 問と同じく、微積分の基本問題です。穏やかな終わりです。